

離島・地域医療実習

2021年1月～2021年7月

対象:医学部医学科6年生(合計125名)

於:鹿児島県内の離島・各地域

実習施設:鹿児島県内の各医療機関

趣旨

学生は、実習終了時に離島・へき地で実践されている、医療・保健・福祉・介護の活動を通して、鹿児島の地域医療を取り巻く医療の現状と課題について認識し、医療・行政・家族・社会など包括的なシステムとして地域医療を捉えることができる。

さらに、各地域医療従事者、および地域住民との関わりを通して、地域で求められ、地域医療へ貢献する医師としての態度・倫理観・社会性等を涵養することができる。

学習目標

1. 地域医療を取り巻く医療の現状と課題を説明できる。
2. 地域医療に従事する医師の果たす役割について自覚し、行動できる。
3. 地域医療、保健・福祉制度それぞれの機能と連携を理解し、患者を中心とした多職種連携とチーム医療について、説明できる。
4. 個人、家族、地域における疾患と医療の多様性を理解し、全人的医療について述べることができる。
5. プライマリ・ケアについて説明できる。
6. 在宅医療に参加し、在宅医療について説明できる。
7. 地域医療に参加し、基本的な診療を実施できる。
8. 離島・へき地の医療で工夫されているシステム(遠隔医療システムなど)について説明できる。
9. 地域完結型医療と循環型地域医療連携システムについて理解し、医療資源の適切な分配をふまえた倫理的で最善の医療を選択できる。
10. 患者とのコミュニケーションを適切に行い、良好な医師—患者関係を構築することができる。
11. 心理社会的背景を含む患者の抱える問題を包括的に捉え、介入計画を構築することができる。
12. 患者を支える医療・保健・福祉・地域の連携について、包括的なシステム(地域包括ケアシステム)として地域医療を捉えることができる。

実習の内容・方法

1.離島・へき地医療実習 12日間(オリエン・振り返り・土日含む)

実習初日に鹿児島大学地域医療学教室にてオリエンテーションを行う。

各離島・へき地の医療機関で8日間の臨床実習を行う(実習期間以外に別途移動時間を要する)。

離島・へき地で働く現場の医師と共に入院患者の受け持ち、外来診療、訪問診療、巡回診療、保健・福祉分野に関わる活動等を体験し、プライマリ・ケアについて学ぶ。実習後(離島・へき地医療実習最終日または翌週月曜日)に同時期実習学生全員での振り返りを鹿児島大学地域医療学教室で行う。

2.在宅診療実習 2日間

鹿児島市内医療機関で在宅診療を2日間実習する。

3.保健指導実習 1日間

保健指導実習(鹿児島市保健センター)を行う。

保健指導実習では、鹿児島市保健センターの主催する地域のお達者クラブに参加し、保健指導や各取り組みに参加する。

4.がんサポートかごしま実習 1日間

がんサポートかごしまで実習を行う。

がん患者さんのピアサポートの取り組みに参加し、その活動を知るとともに、がん患者のライフストーリーをナラティブに聞きながら患者理解を深める。

実習日程・医療機関・参加人数

実習先		1/18 ～ 2/12	2/15 ～ 3/12	3/15 ～ 3/19	3/22 ～ 3/26	4/5 ～ 4/9	4/9 ～ 4/16	4/19 ～ 4/23	4/26 ～ 4/30	5/10 ～ 5/21	5/24 ～ 6/18	6/21 ～ 6/25	6/28 ～ 7/2	7/5 ～ 7/9	7/12 ～ 7/16
肝 属 郡	肝属郡医師会立病院 介護老人保健施設 みなみかぜ			1	1	1	1	1				1	1	1	1
垂 水 市	垂水市立医療センター 垂水中央病院 老人保健施設コスモス苑 宿利原巡回診療所			1	2	2	2	2	2			1	1	1	1
出 水 市	出水総合医療センター 高尾野診療所 野田診療所 上場診療所							1							
出 水 市	鷹巣診療所											1	1	1	1
枕 崎 市	枕崎市立病院			1	1	1	1	1	1			1			
鹿 児 島 市	いづろ今村病院			1	1	1	1	1	1			2	2	2	2
鹿 児 島 市	鹿児島生協病院 谷山生協クリニック													1	1
代替授業		17	17							13	26				

鹿児島大学医学部実習参加人数 125名

実習の流れ

令和2年	8月 6日(木)	オリエンテーション
	8月 8日(土)	マッチング開始(離島へき地医療実習選択) (実習先の希望・事前アンケートWeb入力)
	8月16日(日)	選択希望入力締め切り
	8月20日(木)	選択実習:マッチング結果発表(Moodleに掲載) 発表後各自変更相談(実習期間開始)
	8月31日(月)	マッチング最終決定
	9月 7日(月)	プロフィールweb入力締め切り
	12月 2日(月)	実習ファイル配布開始

※実習1 週間前の月曜まで:生協でチケットやクーポンの受け取り

1～7月 現地での実習
実習終了後2週間以内にレポート等提出(Moodle上)

1/18～2/12 2/15～3/12 実習中止により代替授業
5/10～5/21 5/24～6/18

離島・地域医療代替実習

2021年1月～2021年7月

対象:医学部医学科6年生

例年の実習が行えず、一部代替実習となる。

代替実習の概要・方法

【グループディスカッション】

【課題1】 論文を読み、論文の内容(Clinical Microsystem, Bio-Psycho-Social model)について、他の人がわかるように発表する。論文はMoodleに掲載。

・事後レポート:論文を通して学習したことをA4 1～2枚程度でまとめる。

【課題2】 事例をClinical Microsystem,またはBio-Psycho-Social modelを用いてアセスメントを行う。各理論を事例に照らし合わせ、アセスメントを行う。

アセスメントは、各理論を説明できるように、図式化して説明すること。

・事後レポート:図式化した図、および理論を用いてどのようにアセスメントを行ったかを文章にて説明する。

【課題3】 グループメンバーの組み合わせを変え、Clinical MicrosystemとBio-Psycho-Social modelを学習した人はそれぞれの理論について説明し、お互いにそれぞれの理論について深める。

各理論を事例に照らし合わせ、Clinical Microsystem とBio-Psycho-Social model両方を用いて、アセスメントを行い、図式化して説明する。さらに、アセスメントに基づく介入法(どのような方針でどのような対策をとるか)についても検討

・事後レポート:図式化した図、および両方の理論をもちいてどのようにアセスメントと介入を検討したかを文章にて説明する。

【課題4】 自らのポリクリで経験した事例を振り返り、Clinical MicrosystemとBio-Psycho-Social modelを用いてアセスメントと介入について再検討する。グループ内で両方の理論を用いた検討について話し合い、発表する。また下記事後レポートのテーマについてグループで話し合う。

・事後レポート:自らが医師また地域を活性化する立場になったときに、臨床や地域での取り組み、様々な運営・経営において、Clinical Microsystem とBio-Psycho-Social modelを用いることで、どのような場で役立てることができそうか検討する。

これらの理論を用いることで、どのような効果が生じるか考える。

・今回の学習を通して学んだ事。

【健康講話】

健康講話のテーマを各グループで決め、15分程度の健康講話を発表。

日時	1/18 (月)	1/19 (火)	1/20 (水)	1/21 (木)	1/22 (金)	1/23 (土)	1/24 (日)	1/25 (月)	1/26 (火)	1/27 (水)	1/28 (木)	1/29 (金)	1/30 (土)	1/31 (日)	2/1 (月)	2/2 (火)	2/3 (水)	2/4 (木)	2/5 (金)	2/6 (土)	2/7 (日)	2/8 (月)	2/9 (火)	2/10 (水)	2/11 (木)	2/12 (金)
	AM10:00	自宅学習			AM10:00			Zoom AM10:00 PM13:00		自宅学習	AM10:00			自宅学習		PM14:00		AM10:00 多職種連携ビデオ		自宅学習			PM13:30			Zoom PM13:00
離島・医療 実習代替	論文配布・ 事例配布	論文精読 論文まとめのプレゼン作成 (概念の整理、事例のまとめ) 課題1			論文まとめ 発表	事例検討(アセスメントと介入について考察) 課題2				事例検討 まとめ 発表	グループミックスによる事例検討 課題3											グループ ミックス 事例検討 まとめ プレゼン				
健康講話	作成・教員指導											講話発表														
がんサポート (Zoom)								AM (1-A・1-B) PM (1-Bのみ)																	PM (1-A)	